



NEWS RELEASE

NTT DATA
Trusted Global Innovator



2020年9月16日

株式会社NTTデータ イントラマート

住友林業株式会社

住友林業情報システム株式会社

住友林業情報システムとNTTデータ イントラマート

RPA と BPM をつなぐ「ロボポータル」を共同開発

人とロボが共存する業務全般のデジタルプロセス化をサポート

株式会社NTTデータ イントラマート（東京都港区、代表取締役社長：中山 義人 以下、イントラマート社）と、住友林業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：光吉 敏郎 以下、住友林業）の子会社住友林業情報システム株式会社（本社：千葉県千葉市美浜区、代表取締役社長：金森 朗 以下、住友林業情報システム社）は、イントラマート社が提供するシステム共通基盤「intra-mart®」のBPM^{*1}機能「IM-BPM」とRPA（Robotic Process Automation）を連携させる「ロボポータル」を共同で開発しました。この「ロボポータル」は、人とRPAの作業をシームレスにつなぎ、End to Endの業務プロセスを円滑にすることで、業務全般の効率化・自動化を実現します。なお、住友林業情報システム社では、既に実業務での運用を開始しています。

◆共同開発の経緯と、今後の展望

住友林業情報システム社は2014年から社内業務のRPA化の検討を開始し、2016年からはグループ各社へのRPA導入支援および運用サポートを行ってきました。現在では住友林業を中心にグループ6社でRPAを活用しており、全体で年間37,000時間の削減を実現しています。グループ会社のRPA導入を推進するにあたり、ロボのパーツ化など独自手法で制作を進めたことで、運用管理は大幅に効率化されましたが、それ故に専門性が高くなってしまい、結果的にユーザーの利便性が課題となっていました。

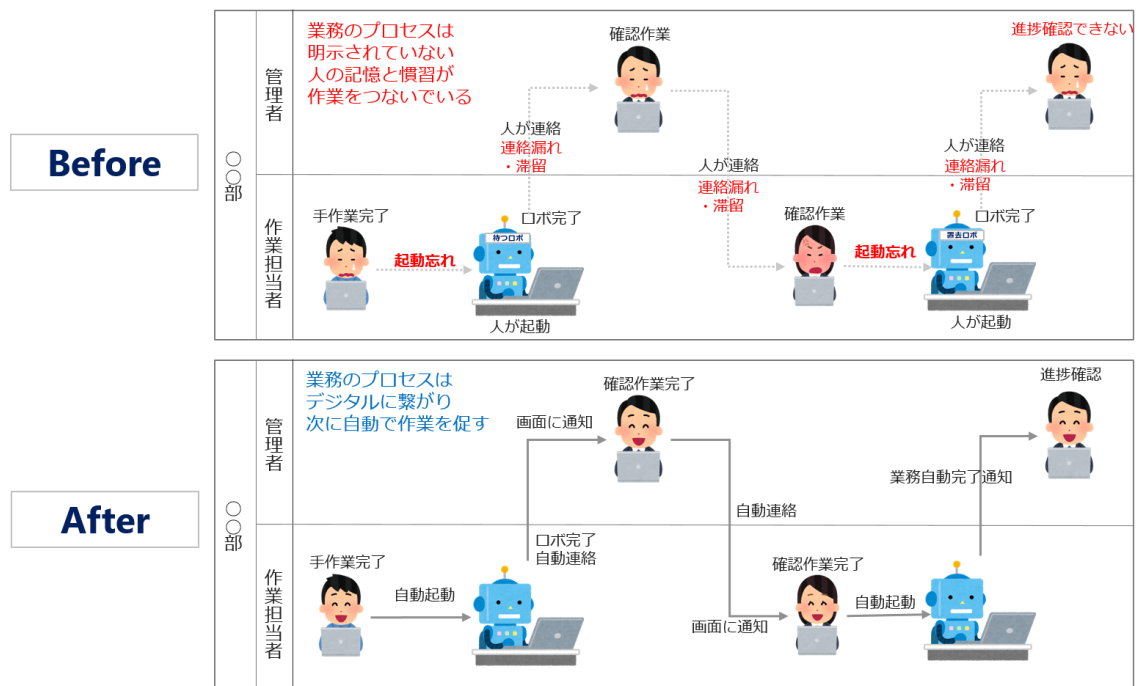
この課題を解決し、RPAをユーザーにとってより使いやすいものにするためにイントラマート社とロボポータルの共同開発に着手しました。

今回共同開発したロボポータルは、住友林業の住宅カタログなどお客様からの資料請求に対応する業務に導入し、導入前に比べ25%作業時間を削減しています。ロボポータルは今後、グループ各社での導入も検討していきます。住友林業グループは今後もRPA等を活用して業務効率化を推進し、働き方改革に注力していきます。

◆「ロボポータル」の特徴

(1)人とRPAが共存し、作業をリレーしながら業務を完結

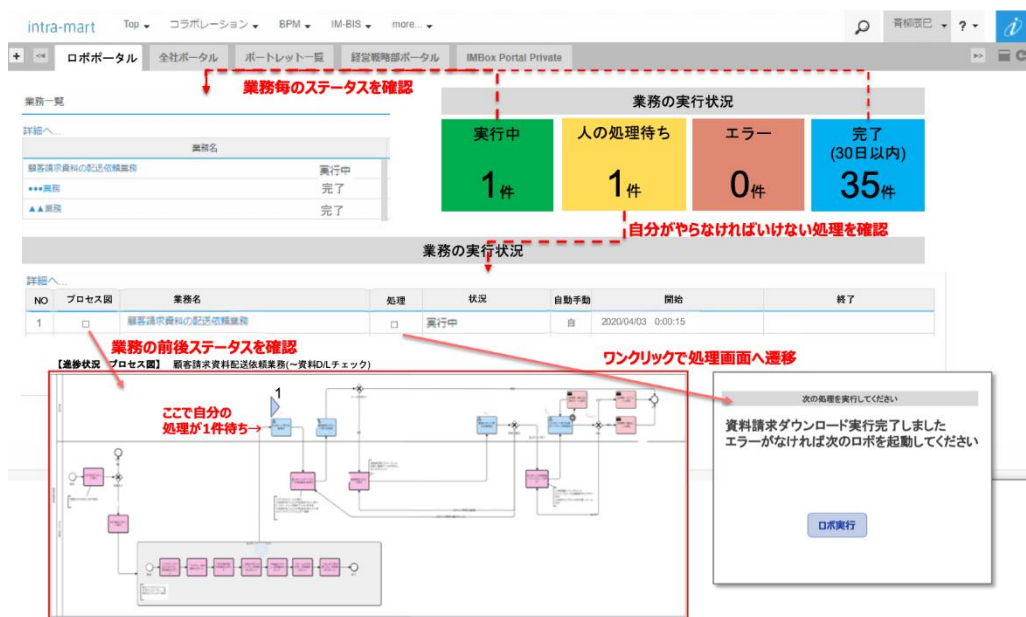
業務の始まりから終わり(End to End)までには、多くの場合、RPAだけでは完結できない人の作業が存在します。人とロボの作業をデジタルにつなぎ合わせ、リレー時間のロスを無くすことで、より短時間での業務処理の実現が期待できます。



(図1)業務プロセス全体イメージ

(2)業務プロセス全体の進捗状況の見える化とリモート対応

RPA 含めた業務の実行ステータス・進捗状況、自身の作業がリモートで確認できるため、場所を選ばずスピーディな業務遂行が可能となります。また、作業の停滞や RPA のエラーをビジュアルに確認することもできます。



(図2)業務リモート画面

(3)運用の内製化を実現

対象業務を BPMN^{*2}図に描き、ロボポータルにアップロードすることで、各業務担当者が実施権を持つ業務メニューが表示され実行できます。この一連の仕組みを内製化して運用できるため、業務のデジタル化の範囲を容易に拡張できます。

(4)RPA と人の“つなぎ”も業務担当者が簡単に設定

現場の業務担当者でもシステムを意識せず、RPA を業務プロセスの所定箇所につなぎ自動実行させることができます。RPA をつなぐ設定は、業務担当者でもわかりやすいUI^{*3}で実現しています。

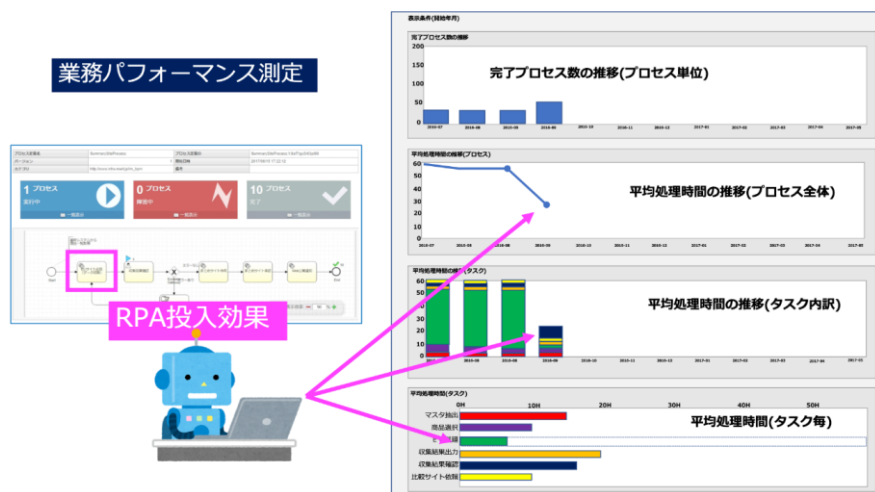
The screenshot shows a form titled 'ロボットタスク情報登録画面' (Robot Task Information Registration Screen). It has several sections: 'プロジェクト選択' (Project Selection), '登録先プロセス選択' (Destination Process Selection), '組織選択' (Organization Selection), '実行画面有無' (Execution Screen Presence), '実行時間' (Execution Time), and '入力情報' (Input Information). Callouts explain the following:

- UI設定** (UI Settings): '現在登録されているロボット名が表示される。' (The name of the currently registered robot is displayed.)
- システム的動作** (System Action): 'BPMプロセスと、どのタスクでロボットを呼び出すかを選択する。' (Select the BPM process and the task to call the robot.)
- 登録情報を管理する組織を選択する。** (Select the organization to manage the registration information.)
- 設定したタスク到達時にロボットを即時実行するか、ユーザにパラメータの入力などの実行画面操作をさせるかを選択する。** (Select whether to execute the robot immediately upon task completion or to allow user input on the execution screen.)
- どのようなパラメータでロボットを実行するか事前に入力する。例. ID :xxx PASSWORD:yyy** (Enter parameters in advance for robot execution. Example: ID :xxx PASSWORD:yyy)
- DBに紐付け情報が格納される** (Registration information is stored in the DB). Below this, it says: 'XXプロセスのYYタスクでは〇〇ロボットを基本パラメータ「ID:xxx、PASSWORD:yyy」で実行画面ありで実行する' (In the YY task of the XX process, the 〇〇 robot is executed with the basic parameters 'ID:xxx, PASSWORD:yyy' on the execution screen).
- この設定を行うことでBPMとロボットが紐付けられる。** (By making this setting, the BPM and robot are linked.)

(図 3) ロボットタスク情報登録画面

(5)業務パフォーマンス測定による継続的な改善活動

業務プロセスに関わる人とRPAの作業時間計測により、KPIに基づく業務パフォーマンス測定が可能となります。計測データを活用し、RPAの適用前後の効果測定はもとより、業務ルールの見直し、作業順序や作業者のアサイン変更など、継続的な業務改善の実現が期待できます。



(図 4) 業務パフォーマンス測定

イントラマート社は、2017 年より RPA 活用に知見の高い住友林業情報システム社と共同で課題解決に取り組み、課題の一つである「人と RPA の共存」についての解決策を導き出しました。イントラマート社の持つ業務プロセス全体のデジタルプロセス化と、RPA の連携を実現する intra-mart BIORA^{*4} を組み合わせることで、解決策をカタチにする共同開発に至りました。

今後イントラマート社では、本ソリューションを皮切りに「RPA 高度化導入支援サービス」としてご提供することで、同様の課題解決を望まれるお客様の DX 化につながる最適な業務全般のデジタルプロセス化を実現します。

***1 BPM**

Business Process Management（業務プロセス管理）の略であり、業務プロセスを中心に業務に関わる人、モノ(帳票等)、システムを可視化し、業務分析、改善を行っていく手法。イントラマート社が提供する「IM-BPM」は、業務プロセスを描画し、「intra-mart」上のワークフロー機能をはじめとする各機能群や、RPA や OCR、AI、IoT 等の他システムと連携しつつ、タスク振り分けや進捗の管理を行うツールである。

***2 BPMN**

Business Process Modeling Notation（ビジネスプロセス・モデリング表記法）の略で、業務プロセスの手順を分かりやすく図示して可視化するための国際標準の表記ルールを定めたもの。「IM-BPM」もこの規格に準拠している。

***3 UI**

User Interface の略。ユーザーと製品やサービスとの接点のことを表し、本文ではロボポータルの操作画面のことを指す。

***4 intra-mart BIORA**

デジタル技術の連携によって業務オペレーションの自動化を実現する、イントラマート社が提唱する Digital Technology の活用コンセプト

<https://www.intra-mart.jp/biora/>

■住友林業情報システム株式会社について

住友林業グループ唯一の戦略的 IT 企業として大規模システム開発からサポート・セキュリティ対応まで幅広いサービスの提供を通じて、「木」を活かし、人々の暮らしを豊かにするというグループミッションを、見えない場所から支え続けています。

住宅展示場から海外拠点に至るまで、あらゆるビジネスフィールドに最適なソリューションを提供し、グループ事業の拡大と競争力の向上に貢献して、持続可能な未来社会を実現する一翼を担ってまいります。

社 名 : 住友林業情報システム株式会社
代表者 : 代表取締役社長 金森 朗
設 立 : 1991 年 11 月
資本金 : 1 億円 (住友林業株式会社 100%出資)
売上高 : 63 億 517 万円 (2020 年 3 月期)
従業員数 : 153 名 (2020 年 4 月現在)
事業内容 : ・情報システムのコンサルティング
・システムインテグレーションサービス、ソフトウェア開発
・ネットワークソリューションサービス
・ヘルプデスク、IT 教育
・EDI サービス
H P : <https://www.sumirin.co.jp/>

■株式会社 NTT データ イントラマートについて

株式会社 NTT データ イントラマートは、Web システム構築のための商用フレームワーク製品「intra-mart」の開発及び販売を中心に事業展開しております。1998 年より、当社が企画、開発した独自のシステム開発フレームワーク、業務コンポーネント群、アプリケーションシリーズは、2020 年 3 月末現在 7,500 社を超える企業へ導入されており、200 社以上のパートナーと共に、システム構築、コンサルティング、教育、運用支援に到るまでのトータルソリューションを提供しています。

社 名 : 株式会社 NTT データ イントラマート
代表者 : 代表取締役社長 中山 義人
設 立 : 2000 年 2 月
資本金 : 7 億 3,875 万円
売上高 : <連結>69 億 1,500 万円 (2020 年 3 月期)
従業員数 : <連結>215 名 (2020 年 3 月末現在)
事業内容 : 「intra-mart」の企画・開発・販売・保守及びその導入に関するコンサルティング・システム開発・教育の提供。

■関連 Web サイト

システム共通基盤「intra-mart」

<https://www.intra-mart.jp/products/iap/>

報道関係お問い合わせ先	
企業・一般の方	報道関係の方
株式会社 NTT データ イントラマート	株式会社 NTT データ イントラマート
セールス&マーケティング本部	セールス&マーケティング本部
E-mail: contact@intra-mart.jp	宇田/雨宮
	TEL: 03-5549-2821 / FAX: 03-5549-2816

E-mail: info@intra-mart.jp

Home Page: <https://www.intra-mart.jp/>

住友林業株式会社

コーポレート・コミュニケーション部 橋本

TEL: 03-3214-2270 / FAX:03-3214-2272

E-mail : ccom@sfc.co.jp

Home Page: <https://sfc.jp/>

※1 : 「intra-mart」は株式会社N T Tデータ イントラマートの登録商標です。

※2 : その他記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の商標、又は登録商標です。